

昭和44年春の新入生ガイダンス（縮景園にて）

退職者を送る

広大を去るにあたつて 思い出をつづる

総合科学部英語講座

高橋 規矩

（部局歴）
昭四九・四 教養部
昭四九・六 総合科学部



想い出を胸に秘めて

一生上の理由で停年まであと四年を残して勇退するに当たり、思ひ残すことが多々あります。私は昭和四年、三八歳の時に広島大学教養部に来ましたが、赴任当時、峠を越していくとは言え、大学紛争のために屢々研究と教育を中断しなければなりませんでした。こうしたことは、今の若い方々には、とても想像することが出来ないことです。しかし、それを忘れさせるような嬉しいことが聞くなくやつてきました。私たちが所属している教養部が改組され総合科学部が

誕生し、私たちは専門の学生を持ち、研究と教育の一体化の夢が実現したことです。そして、それを実現するかの如くに、大学院地域研究研究科、次いで、社会科学研究科が創設されました。

これから始まる余生が如何程私に残されているかは分かりませんが、二二年の歳月を過ごさせて戴いた広島大学での生活の一こま一こまは私の脳裡から一時たりとも離れることはないでしょう。最後に、広島大学の大いなる発展を期待して止みません。

§ 教官退職者 §
（部局歴）
総合科学部英語講座
澤田 和夫
昭四九・六 総合科学部
昭四二・四 教養部
昭四九・六 総合科学部

四四年に始まつた大学紛争です。最初は教養部学友会の改革に関する要求の形をとつたこの紛争は、より広く大学全体の改変にまで及ぶ大規模な要求にエスカレートし、大学独自では対処しきれなくなつて、遂に警察力による一方的な学生グループの弾圧に終わりました。今から考へれば、あるするより他に方法がなかつたことは分りますが、今少し誠意をもつて臨んだ方が良かったのではないだろうか、という気がします。紛争後大学当局は大学の改革にとりかかり、その最も顕著なあらわれが、四九年の総合科学部の誕生であつたことは言うまでもありません。それが必ずしも紛争を起こした学生グループが望んだ通りのものであつたかどうか分かりませんが、大学が体制内にとどまる限り、あれが唯一の実施可能な改革であり、その限りにおいて文句なく最良のものと言えるでしょう。しか

皆が舌を巻く入試採点の迅速正確さに、海軍経理学校、八高理科御出身の片鱗が窺えます。先生の温厚で信頼に足るお人柄があつてこそ、研究科設立の主柱が英語と地域に揃いました。かつて先生が採用・昇任された若手は、引き抜かれ、今では、広大、阪大、京大、九大の重鎮です。一見寡黙でいて意外なお喋り家の先生は、工藤好美先生最愛のお弟子さんで、文芸全般に強く、ミルトンとエリオットの權威です。ギルマン著「文化領域の混乱」等の名訳があります。

（英語講座 田村 一郎 記）

想い出を胸に秘めて

一生上の理由で停年まであと四年を残して勇退するに当たり、思ひ残すことが多々あります。私は昭和四年、三八歳の時に広島大学教養部に来ましたが、赴任当時、峠を越していくとは言え、大学紛争のために屢々研究と教育を中断しなければなりませんでした。こうしたことは、今の若い方々には、とても想像することが出来ないことです。しかし、それを忘れさせるような嬉しいことが聞くなくやつてきました。私たちが所属している教養部が改組され総合科学部が

本学にご着任になり、教養部・総合科学部で英語・英文学をこ担当になりました。英ロマン派文学および日本英学史の研究を専門とされ、特に詩人シエリイの研究では著書、翻訳、論文を数多く公刊されて斯界の第一人者となられました。また、温厚、篤実なお人柄、瘦駆に秘めた粘り強さで後進の指導にあたられました。

今後とも健康に留意され、ご活躍されることをお祈りいたしま

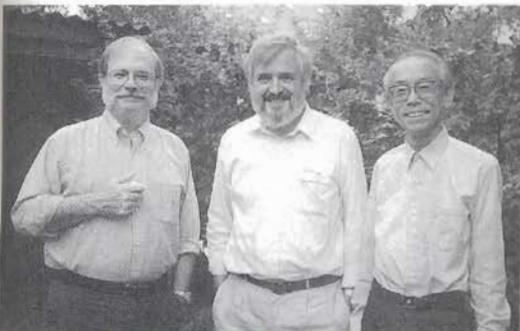
（英語講座 藤本 黎時 記）

総合科学部ドイツ語講座

田中 真造

〈部局歴〉

昭五六・一〇 総合科学部



ベルン大学での宗教改革シンポジウムの後で
(左)Th. ブラディ、(中)P. ブリックレ(共に最先端を行く研究者)

私は広島大学に一〇年半勤めました。在任中、私が所属する総合科学部の発展は目覚ましく、私の周辺でもドイツ語講座が外国语コースに統合され、社会科学研究科が設立されました。その間教職員の皆様方には随分お世話になりました。特に陰に陽に私を支えて下さったドイツ語講座の同僚の方々の御厚情が身にしみております。

私の研究対象の一つは「宗教改革急進派」と一括される「六世紀の異端の多様な個人や集団で、多くは過去の闇の中に葬られている」の御厚情が身にしみております。

彼等に照明をあて、彼等の姿をできるだけ正確に復元するのが狙いでです。こちらでは対象の範囲を大きく広げることができました。停年後もこの仕事だけは続けるつもりです。このような研究には長期

短期合わせて数回のドイツ滞在が不可欠でしたが、今後は地域的に激動の渦中にいる東欧諸国のは過去を射程に入れる必要がありまして、これらの国を近いうちに是非訪ねたいと思っています。

きく広げることができました。停年後もこの仕事だけは続けるつもりです。この仕事だけは続けるつもりです。この仕事だけは続けるつもりです。

〈部局歴〉

昭五三・四 総合科学部

坪田 博行

ちなんD R A C O (龍座)と名付けられたのは忘れられない思い出です。

スチャンであり、最後には許される優しい方がありました。いつもでもお元気で。

〈自然環境研究講座 藤原 祐多夫 記〉

総合科学部自然環境研究講座

神戸大学を出てすぐに助手になつたのを振り出しに、科学技術

院放射線医学総合研究所、東京大学海洋研究所、総合科学部と新しい所ばかりうろつきました。この経験は広島大学では異端者のようですが、総合科学部では異端者のようです。総合科学部には大学院博士課程の案作りと新キャンパスへの移転を手伝つてほしいと言われてきました。五年遅れて生物圈科学研究科は発足しましたが、移転の方は一四年経つても終わりません。

地球規模の最大の環境問題である二酸化炭素問題を技術的に解決しようという通産省工業技術院の調査研究は次の辰年、今世紀最後の年に終了の予定です。それまで健康で、良い地球環境を残すため役立ちたいと考えています。

〈部局歴〉

昭五二・四 総合科学部

日南田 静眞

ちなんD R A C O (龍座)と名付けられたのは忘れられない思い出です。

スチャンであり、最後には許される優しい方がありました。いつもでもお元気で。

〈自然環境研究講座 藤原 祐多夫 記〉

総合科学部社会文化研究講座

昭五二・四 総合科学部

ちなんD R A C O (龍座)と名付けられたのは忘れられない思い出です。

スチャンであり、最後には許される優しい方がありました。いつもでもお元気で。

〈自然環境研究講座 藤原 祐多夫 記〉



地球化学的海底熱水探査装置の
テスト風景 (1982, 試験研究費)



私は広島市育ちで、千田町の附属中学、皆実町の旧制広島高校を卒業したものですから、二六年ぶり

だいたことを心から感謝します。

私は広島市育ちで、千田町の附属中学、皆実町の旧制広島高校を卒業したものですから、二六年ぶり

だいたことを心から感謝します。

私は広島市育ちで、千田町の附属

中学、皆実町の旧制広島高校を卒業したものですから、二六年ぶり

に故郷に帰り後輩に教えるという重責を与えられた時、懐かしさと嬉しさで一杯でした。私の担当は「社会経済史」、総合科学部創設に盡力された方々は、当時全国で一般教育科目として皆無であったこの科目を設定されました。原爆の焦土に立つて戦後の社会激変期に社会経済史の勉強の必要を痛感した私として、これは張り切つべきことでした。努力不足で充分なことができなかつたのは残念です。一九八八年には私の生涯のテーマ「ロシア農政史・農民史研究」のためモスクワに七ヵ月間行かせて貰つたのも、深く感謝します。退職後もある私立大学に職を与えられますので研究・教育を続けます。皆さんの御多幸を祈ります。

* * *

日南田教授は、日本における本

格的なロシア農政史・農民史研究の草分けであり、その一つの到達

点である「ロシア農政史研究」の著者として知られています。教授は、

当時の日本では初めて帝政ロシア時代の一次資料を用いて研究を進められ、農業における資本主義発展の実証的な分析と論理構成に貢献されました。本川小学校附中、



平成元年12月に文学部研究資料展示室の開室を記念して開かれた角筆展の折に

先生は昭和四〇年に文学部に

まつて来ました。
角筆研究を核に、漢文訓読
史、鎌倉時代語研究は、広島大
学で育てて頂いた三本柱で
一、二年で移転するものと思つた
からです。しかしそれからぼー
〇年間、西条町に家を建てました。
今は感謝の念を持つて、今
後を楽しみに見守りたい。

角筆と歩んで二十七年
大学紛争が終息した年、荒らさ
れた研究室の復旧の資金を、時の
学長から頂いて、私はすぐ東京の
古書肆に飛んだ。この金額で買え
るだけの古写本を出して貰つた
所、全部が逸品だったので迷うこ
となく一山そつくり買って帰りました。いずれも平安時代の写本です。購入後に角筆の凹み文字の文
献がその中に入っていたことを学
生が見付けました。当時、国立大学
で角筆文献を持っていると分かつ
たのは、わが研究室だけであり、角
筆文献の方から転がり込んで来た
ようなものでした。

広島大学に招かれた昭和四〇年

には、角筆文献は全国で僅かに六
点が発見された程度でした。研究
対象は無理をして追えば追う程逃
げてしまうのですが、角筆文献
は向うから次々とやって来てくれ
たのです。今は六四〇点が発見さ
れています。昨年暮の東京と京都
の古書即売会では、会場に「角筆
コーナー」が設けられたそうです。

利に聰い業者の対応の早さに
驚く一方で、角筆文献が急速
に大量に出現する期待が高
まつてきました。

このまま終わるかと思ったころ
教育学部の統合移転。統合による
協力態勢が研究・教育の発展の希
望と条件を生みました。国語科は
伝統的に面倒見のよい教室です。
新入生・卒業生送迎の諸行事のほ
か、春の万葉旅行(奈良)や夏の研
究合宿(みのち)では「同じ釜の飯
を食い」学生を知りました。

韓国の大高氏、ポーランドのエデ
イタ、ハンガリーのユディット、ス
イスのアドリアーノなど、色々な
留学生が私の所に来たのも思い出
です。彼らの在籍大学で講義のた
めに渡欧するのが楽しみです。

退職後は鳴門教育大学に参ります。
今後もご指導下さい。

広島、東大へと学ばれ、本学へは北
大教授から赴任され、研究者の育
成にも力を注がれました。
〔社会文化研究講座 舟場 正富 記〕

文学部国語学講座

小林 芳規

〈部局歴〉
昭四〇・四 文学部

となく一山そつくり買って帰りました。いずれも平安時代の写本です。購入後に角筆の凹み文字の文
献がその中に入っていたことを学
生が見付けました。当時、国立大学
で角筆文献を持っていると分かつ
たのは、わが研究室だけであり、角
筆文献の方から転がり込んで来た
ようなものでした。

一人者として、内外の研究者に深
甚の影響を与えておられます。ま
た、清廉で実直なお人柄をもつて、
多くの優れた研究者・教育者を育
成されました。先生の多年の御功
績に敬意と感謝を捧げ、ますます
御健勝をお祈り致します。

〈国語学講座 室山 敏昭 記〉

教育学部国語教育講座

浮橋 康彦

〈部局歴〉
昭四五・一〇 教育学部福山分校
平一・五 教育学部

新潟大学から広島大学福山分校
に配属替えた昭和五四年一
〇月、西条町に家を建てました。
一、二年で移転するものと思つた
からです。しかしそれからぼー
〇年間、西条から福山への通勤。附
属福山中・高校の校長を勤めたか
ら、二時間近くの通勤は物理的に

御着任以来、四半世紀にわたって
国語学講座の隆盛、充実に貢献さ
れた。先生の御研究は国語史学の
全般にわたり、その広く豊かな学
識と鋭い問題意識によって不朽の
成果をおさめられ、今や斯界の第



研究室でゼミメンバーとともに

* * *

先生は、昭和五四年、学部改組によって新設された教科教育学科国語教育学専修国語科内容学担当の教授として招請され、新潟大学から我が教育学部にお見えになりました。この専門は近世文学、とりわけ西鶴の研究ですが、守備範囲は極めて広く、国語教育界でもご活躍になり、研究・実践に指導的役割を果たしてこられました。附属福山中・高校長あるいは附属図書館福山分館長としてのご功績も忘れることができません。

学校教育学講座 大槻 和夫 記

趣味と実益を兼ねてパソコンの前によく座っております

（部局歴）
昭三六・四 教育学部東雲分校
昭五三・六 学校教育学部

高橋 久

ことができました。この専門は近世文学、とりわけ西鶴の研究ですが、守備範囲は極めて広く、国語教育界でもご活躍されています。附属福山中・高校長あるいは附属図書館福山分館長としてのご功績も忘れることができません。

（部局歴）
昭三六・四 教育学部東雲分校
昭五三・六 学校教育学部



学校教育学部保健体育講座 中村 敏雄 記

（部局歴）
平一・四 学校教育学部

私が古い英語の研究を、写本に基づき、パソコンを活用しながら続けたいとおもつております。

* * *

お飲みになれないのに皆勤のコンパと意外や意外の正調「黒ねこのタンゴ」。本職顔色なしのパソコン

彼らを育てた高校までの学校教育の極度なまでの衰弱と、その背後にある政治・経済・文化等の非教育的な在り方に対する憤懣とを書かざるをえません。

正直に申し上げて私の授業はこれまで誰よりも御自分にこそ厳しかった研究者・教育者としての高橋 久先生。いつまでもお幸せにしてしまう魔力が魅力的で、そして誰よりも御自分にこそ厳しきつた旅行をお説いていますから。

（言語教育講座 濱口 篤 記）

（部局歴）
昭二八・四 教育学部附属東千田小学校
昭三〇・七 教育学部附属小学校
昭四〇・四 教育学部東雲分校
昭五三・六 学校教育学部

年間ですが、振り返ってみますと様々なことがあります。三原分校との統合、学園紛争、分校から学部への独立、そして研究科の創設。この間、夜遅くまで何度も会議がもたれました事でしょうか。学生の国際交流制度が始まりますと、その仕事もさせていただきました。留学を経験された諸君が各地で活躍されているニュースを耳にするのも嬉しい事の一つです。また、多くの関係者が長年にわたり審議されてきました西条キャンパス中央図書館建設の一期工事が完成しました時に、その仕事の一部に関係させていただきました事も思い出します。手動タイプが電動タイプに、さらにワープロからパソコンへと、大きな変化をしていく中で、この30年の間の学生気質も随分変わりましたようです。それが全て好い方向にあります。それが全て好い方向にあります。

なぜクラブが生活の中心なのか、なぜアルバイトをするのか、なぜそんなに「イイ子ちゃん」なのか等々。しかしこの拳はいたずらに空を切つたようです。退職後は「毎日が日曜日」ですのでもう一度幼小・中学校の教師たちと教育について語り合う会を開催し、人間的な教育実践の再構築に向けて蠍の斧を振り回したいと思っています。

* * *

中村敏雄先生はわが国有数の体育学の研究者であります。単行本として出版された著作は五六冊。そのうち著書が一五冊、編著が二二冊になります。昭和四三年に初版が出た「近代スポーツ批判」（三省堂）以来、鋭い研究視点も

とづく着実な仕事は常にわが国の社会科学的な研究分野をリードしていました。廣島大学の在籍は三年と短い期間でしたのが、今後とも健康に留意され、いつそう御活躍されることを祈ります。

（保健体育講座 小林 一久 記）

（部局歴）
昭二八年、教育学部附属東千田小学校に美術専科の教官として着任しました。研究発表・著作・創作と自分を問われる多忙な毎日でした。緊張の中にも有意義な日々を過ごすことができました。

三五年に学校教育学部の前身である東雲分校の併任講師となり四年に彫刻担当として移籍しまし。当時美術科は体系を整えつつある時で、彫刻担当は私がはじめた。当時美術科は体系を整えつつある時で、彫刻担当は私がはじめた。当時美術科は体系を整えつつある時で、彫刻担当は私がはじめた。

とづく着実な仕事は常にわが国の社会科学的な研究分野をリードしていました。廣島大学の在籍は三年と短い期間でしたのが、今後とも健康に留意され、いつそう御活躍されることを祈ります。

（保健体育講座 小林 一久 記）

（部局歴）
昭二八年、教育学部附属東千田小学校に美術専科の教官として着任しました。研究発表・著作・創作と自分を問われる多忙な毎日でした。緊張の中にも有意義な日々を過ごすことができました。

三五年に学校教育学部の前身である東雲分校の併任講師となり四年に彫刻担当として移籍しまし。当時美術科は体系を整えつつある時で、彫刻担当は私がはじめた。当時美術科は体系を整えつつある時で、彫刻担当は私がはじめた。

退職者を送る

の準備・学生の指導と理想の実現に奔走し、思い出深いものがあります。

彫刻の道に入つて三五年近くになりますが、この道の厳しさ険しさ、そして作る喜びを痛感している今です。

退官を機に初心に戻つて彫刻を見つめなおし、限りなく奥深い芸術を愛し挑みさらなる歩みを進めたいと思っております。最後になりましたが、長年にわたりお世話をなった先輩・同僚の先生方ならびに院生・学生諸君に御礼を申し上げますと共に、広島大学の発展を心からお祈り申しあげます。

* * *

先生は昭和二六年東京教育大学



自宅アトリエにて

を御卒業され、昭和四〇年に当時の広島大学教育学部東雲分校に奉職されて以来、二七年の長きにわたり、温厚なお人柄と幅広いご識見により教育と研究に精力的に取り組まれてこられました。また彫刻作家として数々の業績を挙げられ、現在白日会、日本彫刻会、日展の会員として御活躍されております。御健康に留意されて、制作活動をお続け下さい。すばらしい作品におためにかかれることを楽しみにいたしております。

(美術教育講座 小平 育可記)

学校教育学部数学教育講座

山口 清



中国戦国時代の長城遺跡の前にて
—内蒙包頭市近郊—

東広島市での新しい学校教育学部が始まることであろう。学部生活で賜りました御好意に感謝し、学部、数学教室、附属教育実践研究指導センターの皆様方の御発展を心から願っております。

* * *

先生は世俗を超えた研究一筋の人である。学問のためにはすべてを懸けるといった姿勢で研究に打ち込んでこられた。古き良き時代の研究者の典型を先生に見るのは私一人ではあるまい。また、先生は我が数学教育教育学部の自由な雰囲気のなかで、年一回程度海外の学会にも出席でき、それが研究の動力になつた。セミナーの学生との研究は楽しかったが卒業の時は寂しい。僅か十年程の学校教育学部での生活であったが、この間に教室より雑誌 Mathematics and Mathematics Educationが発行された。今後の発展を楽しみにしている。一九九〇年に非結合環と関連トピックスの国際シンポジウムを広島で河本教授と共に開催し、この報告集を出版できたことはよい記念になつた。まもなく

昭二九・一〇 教育学部三原分校
昭三七・四 教育学部東雲分校
昭五三・六 学校教育学部

平成一二年度を見据えた大学院の分野を支える人材の養成を主目的にしたもので、一方で文部省と教育大学協会とが中心になつて教員養成系の大学学部の上に博士課程を設置しようという動きがあります。それは当然で、大学院へ進んでいく子どもたちの義務教育段階が空洞化しては元も子もなくなるからです。私の恩師であらわれれる楠見久先生は、三十も前から、その存在がいかに大きなものであったかに、改めて思い至つて、先生の存在がいかに大きなものであつたかに、改めて思い至つて、いつまでもお元気で御活躍くださいますように。

(数学教育講座 石橋 康徳記)

昭二八・五 教育学部東雲分校

昭二九・一〇 教育学部三原分校
昭三七・四 教育学部東雲分校
昭五三・六 学校教育学部

東広島市での新しい学校教育学部が始まることであろう。学部生活で賜りました御好意に感謝し、学部、数学教室、附属教育実践研究指導センターの皆様方の御発展を心から願っております。

先生は世俗を超えた研究一筋の人である。学問のためにはすべてを懸けるといった姿勢で研究に打ち込んでこられた。古き良き時代の研究者の典型を先生に見るのは私一人ではあるまい。また、先生は我が数学教育教育学部の自由な雰囲気のなかで、年一回程度海外の学会にも出席でき、それが研究の動力になつた。セミナーの学生との研究は楽しかったが卒業の時は寂しい。僅か十年程の学校教育学部での生活であったが、この間に教室より雑誌 Mathematics and Mathematics Educationが発行された。今後の発展を楽しみにしている。一九九〇年に非結合環と関連トピックスの国際シンポジウムを広島で河本教授と共に開催し、この報告集を出版できたことはよい記念になつた。まもなく

昭五六・四 学校教育学部
昭二四年に広島高師を卒業、一年間の高校教員の後に、昭和二八年広島文理大を卒業した。文理大最後の学年である。研究生の後、理学部助手をへて熊本大学に勤務し、学校教育学部によんで頂いた。学校を楽しく過ごさせて頂いた。学校

昭二八・五 教育学部東雲分校

吉村 典久

(数学教育講座 石橋 康徳記)

昭二九・一〇 教育学部三原分校
昭三七・四 教育学部東雲分校
昭五三・六 学校教育学部

東広島市での新しい学校教育学部が始まることであろう。学部生活で賜りました御好意に感謝し、学部、数学教室、附属教育実践研究指導センターの皆様方の御発展を心から願っております。

先生は世俗を超えた研究一筋の人である。学問のためにはすべてを懸けるといった姿勢で研究に打ち込んでこられた。古き良き時代の研究者の典型を先生に見るのは私一人ではあるまい。また、先生は我が数学教育教育学部の自由な雰囲気のなかで、年一回程度海外の学会にも出席でき、それが研究の動力になつた。セミナーの学生との研究は楽しかったが卒業の時は寂しい。僅か十年程の学校教育学部での生活であったが、この間に教室より雑誌 Mathematics and Mathematics Educationが発行された。今後の発展を楽しみにしている。一九九〇年に非結合環と関連トピックスの国際シンポジウムを広島で河本教授と共に開催し、この報告集を出版できたことはよい記念になつた。まもなく

昭二九・一〇 教育学部三原分校
昭三七・四 教育学部東雲分校
昭五三・六 学校教育学部

平成一二年度を見据えた大学院の分野を支える人材の養成を主目的にしたもので、一方で文部省と教育大学協会とが中心になつて教員養成系の大学学部の上に博士課程を設置しようという動きがあります。それは当然で、大学院へ進んでいく子どもたちの義務教育段階が空洞化しては元も子もなるくなるからです。私の恩師であらわれれる楠見久先生は、三十も前から、その存在がいかに大きなものであったかに、改めて思い至つて、いつまでもお元気で御活躍くださいますように。

先生は世俗を超えた研究一筋の人である。学問のためにはすべてを懸けるといった姿勢で研究に打ち込んでこられた。古き良き時代の研究者の典型を先生に見るのは私一人ではあるまい。また、先生は我が数学教育教育学部の自由な雰囲気のなかで、年一回程度海外の学会にも出席でき、それが研究の動力になつた。セミナーの学生との研究は楽しかったが卒業の時は寂しい。僅か十年程の学校教育学部での生活であったが、この間に教室より雑誌 Mathematics and Mathematics Educationが発行された。今後の発展を楽しみにしている。一九九〇年に非結合環と関連トピックスの国際シンポジウムを広島で河本教授と共に開催し、この報告集を出版できたことはよい記念になつた。まもなく

島大学も一つの大きな特徴を誇ることになる信じています。

* * *

先生には、せめてご退官の前はゆつたりと過ごして戴きたかったのですが、評議員他の要職の為ご多忙を極められ、口癖である「誠私奉公」を身をもって示し続けられました。自然を、人間を、そして酒をこよなく愛し、常に「地球市民」として生きる学生を育ててこられた四〇年間であったと思います。これからも益々お元気で、ご専門の研究を続けられ、私共後進をハシマード手に叱咤激励下さるようお願い致します。

（理科教育講座 鈴木盛久記）

法学部政治講座

今中 比呂志

（部局歴）

昭四〇・六 教養部
昭四九・六 総合科学部
昭五六・四 法学部

私が広島大学教養部に赴任したのは昭和四〇年六月でしたから、それ以後、二七年間広島大学でお世話をになります。停年まで、あと二年を残して退職しています。



吉島の自宅にて

法学部公法講座

畠 博行

（部局歴）

昭三五・三 政経学部
昭五二・五 法学部

私が広大政経学部に着任したのは「六〇年安保」の年にあたる昭和三五年の春でした。

当時の政経学部は学科自制で修士課程もなかったのです。それだけに、政経学部の法律政治学科が旧制大学法学部並みの学部になるのが私の最大の願いでした。幸い、

そのうちに修士課程ができ、分離改組という形で法学部が創設され、さらに念願の博士課程まで設

在職中、大変お世話になつたことに、あらためて謝意を申し上げるとともに、皆様のご健勝をお祈りいたします。

* * *

今中先生は西欧政治思想史を担当され、懇切かつ意欲的に学生指導に当されました。ご専門の分野では、イギリス革命期のリチャード・バクスター、アルジャーノン・ショーン、ジョージ・ロウソンなど、わが国で未開拓の思想家を研究され、先駆的業績を残されました。また二部主事、評議員を歴任され、日本政治学会の理事を務められるなど、学内外の行政面でも手腕を発揮されました。最後に先生は、最近、アジア地域にも関心を示され、特にインドネシアとの研究交流に尽力されました。

私は退職後は、これまでにやり残した研究を少しでも完成させたいと念願しております。研究にはいと念願しております。研究には終着駅というものがありませんが、今後は十分な時間の余裕を得て、有終の美を飾りたいと考えています。

（政治講座 山本 隆基記）



南ドイツのノイシュバンシュタイン城の近くにて (1991.6.25)

畠博行先生が、停年の一年を前に退官されることとなりました。先生を失うことは、学部にとって計り知れない痛手であります。

先生は、一九六〇年（昭和三五）に政経学部助手として着任されて以来、

けられることとなりました。着任当時を考えると、感慨ひとしおです。被爆都市ということもあって、広島には外国人がたくさんやっています。これまでに色んな国の著名な学者と知り合い交流することことができたのは何物にも換えがたい楽しい体験です。海外にはたびたび出掛けましたが、そうやって築いた人脈のおかげで、どこでも温かく迎えられ、相当な成果をあげることができました。

私の広大勤務は三二年一ヶ月に及びます。学部の同僚教職員はいふに及ばず、他部局の人たちからも温かい御支援と御厚誼を賜わったことに深い感謝の気持を抱いています。

* * *

畠博行先生が、停年の一年を前に退官されることとなりました。先生を失うことは、学部にとって計り知れない痛手であります。

先生は、一九六〇年（昭和三五）に政経学部助手として着任されて以来、



卒業式後、法学部玄関前ザミ生と

退職者を送る

学部において憲法學を担当され、研究教育に多大の貢献をされてきました。なかでも、ときに最高の教師として、ときに兄のごとく、後進の指導にあたられ、数え切れないほどの人材を世に送り出されたことは、巨大かつ堅固な「博本会」なる同窓会に体現されているところであります。

昭和五八年から六〇年までは、法
学部夜間学部主事として法学部第
二部の教育環境の改善にも尽力さ
れました。ブリティッシュ・カウン
シル招へいによりロンドン大学に
留学された経験から、イギリス会員
社法理論の研究を専門とされ、温
かく誠実で穏やかな英國紳士風の
お人柄でも、後進に深く影響を与
えられました。今後ますますのご
活躍を祈念申し上げます。

先生は、昭和四七年に本学に赴任され、政経学部、法学部において、商法の研究と教育に、また

大学の研究室で数カ月を過ごしたこと、多くの外国の研究者との交流など思い起こす事項は尽きません。退官後は新しい環境設定が必要になりますが、今暫くは現在と同様の生活を続けます。

まだ公務多端で，在職中の思ひ事に、香川大学から転任早々に学生委員として大久野島のオリキヤンに参 加し学生達と遊んだり駄べつたりしたこと、統合移転問題で飯島長が学部に説明に来られたときの話、気候に風物に恵まれてハワイ

るよう、豊かになつた
た物質的な豊かさ」が拡
がるにつれ、「現実主義」
や「実利主義」の風潮が
益々強まり、若者からも
遠大な「理念」を聞くこと
が稀になつたことは淋
い限りです。ウェーバー
のペシミスティックな言
葉「精神のない専門人、心
情のない享樂人……」の時

私が十五年前に広島にいた頃は、まだ原爆の傷跡が残っていたが、その後の高度の波の中で広島の市街も貌していきました。当時ら眺めると、広大キヤンがよく見えていたのに、が大学は林立するビルのもうとしています。この生の生活も、自転車からバイクへの多行こみられ

昭五二・四
政治経学部
昭五一・五
経済学部

経済学部歴史経済科学講座

代が到來したのでしょうか。ともあれ、広大の皆様、長い間お世話になりました、有難うございました。「アディオス！」



船上より音戸の瀬戸を臨む

経済学部の欧米経済史を一五年間にわたり担当してこられた先生は、わが国の斯学、とりわけアメリカ経済史界を代表する主導的な歴史家のお一人で、かつまた、近年創的な新生面を切り開かれた開拓者的なアントルブルヌールでもあります。和顔愛語のなごやかな酒席をこよなく愛される先生が、

八部局歷

經濟學部理論・計量經濟學講座

広島大学政経学部に赴任したのが昭和二九年六月。当時の政経学部は、江波の県立商業学校の旧校舎に仮住まいしており、古い建物貧弱な設備、その上、僅かな研究費と当時の日本経済を象徴するようなきびしいものでした。それから三七年余。その間、いろいろのことがありました。昭和三二年四月に、新築されたばかりの現在の校舎へ移転し、自分の住まいよりも立派

歴史経済科学講座 加藤房雄 記

いよいよご健でなおいつそう
活躍下さいますことをお祈りいた
。

な研究室に、つい嬉しくなつてよく夜遅くまで利用したものでした。また大学紛争では、キャンパスの封鎖、団交、延々と続く学外での会議、授業の中止などまさに未曾有の激震を体験しました。

理学部附属微晶研究施設

も健康に留意されて、さらに活躍されることをお祈りします。

昭二八・四
理学部
理学部附属微晶研究室

昭和二五年に広島文理大の最後の学生として入学して以来、四〇年余の長い間広島大学に御厄介になつたわけで、よくもまあ居たも

まことに感慨深るものがありました。本当に長い間大変お世話になりました。心からお礼を申し上げます。

研究面では、経済成長論で活躍され、学部長としては、経済学専攻の博士課程を創設されるなど、経済学部の偉大なる功労者であります。助手として赴任された時、学部三年生として指導を受け、神戸市立大学に内地留学された時には、大学

院生として、下宿を二緒させて頂き、以来、慈愛に満ちた兄のような存在でした。抱擁力があり、温厚で誠実、しかも愛妻家。奥様とともに



三永の水源池かと思ひます。
さて、理学部も昨年東広島に移
転したわけで、矢張り広島の市街
から離れたことは何かと不便で、
特に若い職員・学生にとつては大
変なことかと思います。しかし、こ
れを一つの転機に、広島大学全体
がこれまでの歴史を土台にして、
一段と飛躍されることを念願して
やみません。

先生は、超高純度金属の精製とその物性、特に、格子欠陥の研究において優れた業績を挙げられました。これらは、最近の新素材の開発

* * *

広大フォーラムから退職の弁を
と言われて、三月で私も広島大学
とお別れかと改めて実感した次第
です。現在の私の頭の中は九月に
移転した西条新キャンパスでの半
年ほどの学園生活の事で一杯で
す。幸いにも私の研究室は理学部
A棟の三階の南側です。窓から見
える一群の建物と背景の鏡山の一

A棟の三階の南側です。窓から見える一群の建物と背景の鏡山の一
角にかけては私のお気に入りの風
景で、キャンパス内をバスが走る
などは在米時に世話になつた大学
の景色をほうふつさせてくれま
す。西条の秋から冬の澄んだ空氣、

では味わえなかつた学園生活の一
面があります。街並の喧そうを離
れた西条での生活が半年程で良
かつたのか、あるいはもう少し長
くと心を残して去るのか、どちら
とも言えない複雑な心境でいま
す。

最後にみなさんの長い間のご交説に感謝するとともに、広島大学の発展を心から望みます。

理学部動物分類学講座

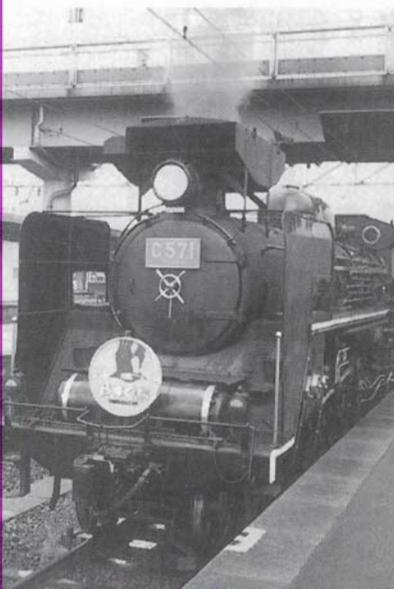
のだと吾ながら累れていたる次第です。それだけ居心地がよかつたと
いうことでしようが、広島という
町が住むには丁度手頃な大きさ
で、東京みたいに通勤に苦労する
こともなく、何かと樂しい毎日で

研究において大いに注目され昨秋
「中国文化賞」を受賞されました。
先生は、一見、厳格で近寄り難い雰
囲気をお持ちですが、温かい人間
味溢れるお人柄で、実に忍耐強く
後進の指導に当たられました。

昭二六・四 理学部

A black and white photograph capturing a classroom scene. Several students are seated at a long, light-colored wooden table, intently focused on their work. In the center of the table, there's a large, round, shallow container, possibly for holding supplies or materials. A teacher, a man wearing a dark vest over a light shirt, stands behind the students, looking down at their work. The room is well-lit by large windows on the left, and shelves filled with books and classroom supplies are visible in the background. The overall atmosphere appears to be one of focused learning and guidance.

2年次夏の臨海実習における 磯採集標本の分類 (1988. 7. 11)



山口線SLやまぐち号
小郡駅にて(1983.6.12)

東京での大学院生活を終え一九五七年五月から広島大学皆実分校（母校旧制広島高等学校）に勤め、一九六〇年十月に理学部に配置換

東広島キャンパスの私の部屋から広島に向かう飛行機が望見できます。自称乗物（鉄道）ファンにとって大きな喜びであり、これ迄

昭三二・五 皆実分校
昭三五・一〇 理学部

（部局歴）

藤原 浩
（動物分類学講座 高橋 実夫記）
理学部磁性体講座

位置決定や、口部構造が一八〇度回転しているグラウコマの逆口の発生に関する研究は特筆に値します。先生は「まあ、やつてみいや」と、言うのが口癖で、何といい加減なアドバイスと思つても、それによつて問題が解決したこと多かったように思います。今後の先生のご健康と御多幸をお祈りします。

えとなつてからこんにちまで、私の広大での生活は、停年を待たずして故人になられた研究室の師・先輩を始め多くの方々との出会いにより啓発されつづけた日々でした。曲がりなりにもこんにちまで勤めさせていただいたのはこれらの方々のお蔭と感謝の毎日でございます。研究室の一部屋（東千田キャンバス）をこれまで母校の旧附小の建物内にいただけのもの何かの縁でした。

幾つかの研究テーマに取り組み、その中にはそれ迄は全然別な世界に踏み込んだものもありましたが、その場その場で全力投球したつもりです。評価は残った研究グループの人達が自らのも含めてしてくれたのであります。

藤原教授は单結晶がお好きです。ダイヤモンドや岩塗は天然に産出する典型的な单結晶ですが、金属半導体素子も单結晶ですが、金属の单結晶を作るのは一般に容易ではありません。先生が手掛けられた、单結晶を使った最初の研究はニッケルとその合金の磁気異方性の観測です。今日のハイテクは物質革命とも呼ばれます。先生は、ある意味で单結晶というジャンルの観測です。今日のハイテクは物質革命に挑戦されていたのかもしれません。

東広島キャンパスの私の部屋からの混亂も漸く治まつた頃で、大学は勿論、市内にはまだ原爆の傷痕が多く見られました。実験器具・装置は無い等しく、自作のものを繰り返し修理しては実験したことには些か感無量であります。

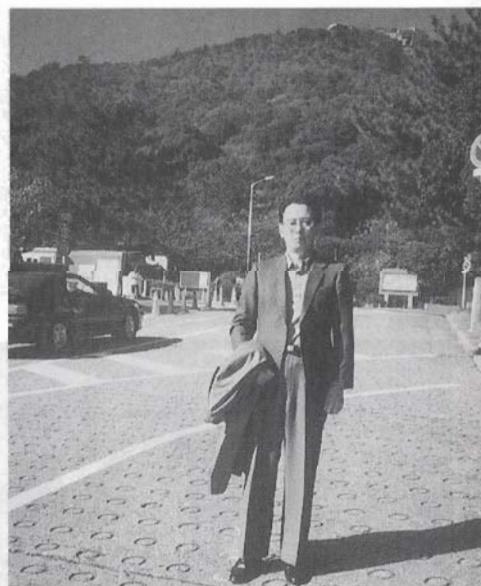
統合移転も進み、理学部も六年の歴史を刻んだ広島の地を後に西条に移転しました。新キャンパスには中央図書館や総合科学部の倉庫も姿を現し、次第にその威容を増しつつありますことは誠に嬉しく、ご同慶の到りに存じます。

この環境に恵まれた地での広島大学の今後の益々の発展と、皆様方のご活躍・ご健勝を心からお祈り申し上げます。

（動物分類学講座 高橋 実夫記）
理学部磁性体講座

の乗物経験をいつの日にかまとめてみたいと思います。
＊＊＊

藤原教授は单結晶がお好きです。ダイヤモンドや岩塗は天然に産出する典型的な单結晶ですが、金属半導体素子も单結晶ですが、金属の单結晶を作るのは一般に容易ではありません。先生が手掛けられ



昨秋、家内と共に神戸市須磨浦公園を散策
後方は山上公園

学生時代を含めますと四〇年余り、良き師、良き同僚、後輩の方々に恵まれ、無事停年を迎えることができましたことを深く感謝申しあげます。

先生は、昭和二八年広島文理学科
大学生物学専攻を卒業

の時期に分けられるようと思いま

昭二八・四 理学部
（部局歴）
山田 耕司
（動物生理学講座 野村 基之記）
理学部動物生理学講座

竹屋範英
（部局歴）
昭四五・四 医学部
（動物生理学講座 藤本 正昭記）
医学部薬理学講座

す。最初、医学科の薬理学教室は赤煉瓦の三号館の二階で、実験装置もキモグラフィオンのみでした。一年後には現在の建物に移りましたが、「This is not a college but a cottage.」と言う西丸名譽教授のお話が頭の中を駆け巡っているよう毎日、大学紛争直後のせいもあり、当時にタイムスリップしたような感じでした。昭和五四年には8ビットのパソコンを個人で一台購入し独学で薬物の蓄積作用のシミュレーションとそれをXYプロッタ上に描画するプログラムを作成し、これが「医学のためのマイコンガイド・南江堂」を共著で書かれるものになりました。自作の血管滴数計を広島市総合展示館で開催された広島エレクトロニクスフェア'81に参考出品したり、ADコンバータを個人で自作して実験値の自動記録、処理を行ったのもこの頃です。最近微小循環の薬理上面白いことを発見しましたが「Time's up.」になつたようです。

* * *
先生は熊本市の御出身で昭和二八年に九州大学医学部を卒業さ



中村 昭四郎
医学部薬品資源学講座

(薬理学講座 水流 弘通 記)

れ、熊本大学医学部助教授を経て、昭和四五年に本大学医学部薬理学講座の教授として着任されました。以来二三年間、学生の教育、後進の指導と研究、そして大学の運営に精力を傾けてこられました。

特に、医学研究へのコンピュータ導入の先駆者として有名で、本学情報処理機構の整備及び運営に多大な貢献をされました。御退官後もますます御健康で御活躍されますようお祈りいたします。

(薬理学講座 水流 弘通 記)

を過ごさせて頂きました。
小・中学校、兵学校、高校、大学と全て旧制最終の課程を経たのち、東大応用研助手(6研)、同助教授(12研)、本学教授と何れも新設部門・学科の設営に関わりましたのも何か人の運命と感ずる

昨日です。

大学紛争時に全く零から出発しました。薬学科も総合薬学科に改組され、薬学系国立大学として最高

(9階)の研究棟に相応しく国試の合格率はこのところ国立大学中

最高で、また学会賞等受賞される

教官の数も多いように感じます。

これらのこととは本学の皆様、特

に設立当時の浦城・小林医学部長、

百々病院長の御尽力や御助言に負

う所が大きく、改めて心から御礼

を申し上げます。

「少年老い易く。」は「老年」の誤りと実感している此の頃であります。退官後は専門の知識が役立つ機会があればと存じております。船頭から退官後は漁師になれと薦められた魚釣りの方も頑張ります。

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

中村 昭四郎
医学部薬品資源学講座

(薬理学講座 水流 弘通 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(薬品資源学講座 井上 義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(薬品資源学講座 井上 義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

松島 龍太郎
歯学部口腔解剖学第二講座

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

の広島湾でカギ筏から転落した武勇伝など思い出はつきませんが、

今後の御幸運をお祈りします。

(歯学部口腔解剖学第二講座
講師 藤田義雄 記)

昭四四・一〇 医学部
(部局歴)

退職者を送る



1983年「国際歯科衛生シンポジウム」に参加
—フィラデルフィアにて—

その都度、自分の力の限界を知り何度も挫折感を味わいました。何の実績も残らないまま去ることは心苦しく思いますが、周囲の皆様に支えられ、又目に見えない何かに守られながら、健康で職務を終えられること

昭三一・四 医学部附属病院
歯学部附属歯科衛生士学校
戸村 光子

（部局歴）

講座助教授として広島の地へ御赴任され、四二年同歯学部教授として口腔解剖学第二講座の創設にあたられ、以来同講座の発展に寄与されました。発生学と神経解剖学を中心に口腔領域の問題に取り組まれました。長らく御薦めいただきことに感謝を捧げ、今後の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。

（口腔解剖学第二講座 高橋 理記）

* * *

先生は昭和二十五年京都帝國大学付属医学専門部を御卒業になり、三三年広島大学医学部解剖学第一

講座助教授として広島の地へ御赴任され、四二年同歯学部教授として

昭和三〇年、県立広島医科大学時代より現在まで三〇数年、歯科衛生士として本学に奉職できたことを誇りに思うと共に感慨も入ります。広大という一個所の職場ではありましたが在職期間中私は本学の発展と共に三度の節目を通過しました。一回目は県立医大から国立移管により、呉市広町から現在の霞ヶ丘へ移転。二回目は歯学部創設に伴い歯科衛生士の本命の場である予防歯科に配置換えになつて約一〇年。三回目は全く予期しなかつた歯科衛生士学校の創設によって、教職という未知の分野を担当することになったことです。

その都度、自分の力の限界を知り何度も挫折感を味わいました。何の実績も残らないまま去ることは心苦しく思いますが、周囲の皆様に支えられ、又目に見えない何かに守られながら、健

康で職務を終えられること

昭四二・九 歯学部附属病院
昭五一・四 歯学部附属歯科衛生士学校

を今、心より感謝する次第です。

退職後は、本学で得た体験を活かし残された人生を少しでも人々のお役に立てるよう前向きに歩みたいと思います。

（部局歴）

＊ * *

先生は、吳市歯科衛生士養成所卒業後、広島県立医科大学歯科口腔外科から創設まもない歯学部附属病院に移られ、その後發展寄与され、本校創立と同時に教務主任として就任、本校の充実に尽力頂きました。多くの歯科衛生士を育成されました。この間、全国歯科衛生士教育協議会教育委員、広島県歯科衛生士会会長等を歴任、さらに厚生大臣表彰を受けられています。退官後も、趣味の油絵や美術館巡り等、費かで充実した日々を送られます。よう心から祈念いたします。

（附屬歯科衛生士学校 新谷 葦草記）

観光趣味皆無の男の、学会から金閣寺へのエスケープ

（部局歴）

＊ * *

早朝から晩まで自ら実験器具を片手に研究室を廻り、汗を拭きながら機器分析装置に向かっておられる姿が強烈に印象に残っています。このように、後進に研究者のあるべき姿を、身をもつて示されました。

先生の飽くなき探究心と独創性が、天然物アレルギーの研究では、世界をリードする研究業績となりました。台での御活躍をお祈り申し上げます。

（附屬歯科衛生士学校 小笠 和久記）

昭四〇・七 工学部
工学部醸酵工学講座
岡 智

（部局歴）

＊ * *

昭二八年三月、東京大学農学部農芸化学科を卒業、広島県食品

振り返りますと、三年間の学生時代よりも二年間の食品試験場時代の方が、さらに試験場時代の方があつた。代よりも二六年余の工学部時代の

（部局歴）

＊ * *

方があつた。これがむしろ短いという感じです。充実した大学生活を極めて快適に送らせて頂いたものと心から感謝している次第です。広島大学の一段の発展を祈ります。

（部局歴）

＊ * *

今後も、御健康と新たな舞

台での御活躍をお祈り申し上げます。

（部局歴）

＊ * *

今後も、御健康と新たな舞



夏休み前の研究室恒例コンパにて（1983年）

最初の居場所は、千田町の工学部の正門に入りまして立派な庭のバックに見えます木造二階建の一角でした。階段を上り下りするとき鶯張りの音がしましたのも大変なつかしいものでした。

着任直後、研究費、実験設備もほとんど無い状態でしたが、終戦後の日本の物不足に耐えてきました私達中派にはまた味のちがつた思い出の一となりました。

西条のキャンパスに最初に移転しまして新しい建物、新しい研究設備で十年間、若い学生諸君と楽しく研究生活が出来ました。特別に私の指導と努力は致しませんでしたが立派な成果がでましたことの大変感謝の念が湧いてきますこの頃です。

卒業生諸君は社会に羽ばたいてすくすくと成長、それぞれの分野

で活躍されている姿を見るのも、今後の楽しみの一つです。また、広大の一層の発展をお祈りしています。

*

*

*

先生は、昭和二九年広大理を御

卒業後、広大理、原研、京大炉、広大工と新しい研究の場を常に生かしながら、片時も離すことのなかつたのが一本刀の電気泳動法である。これに関する業績で日本分析化学会学術賞を平成三年に受賞された。又人並以上のアルコール分解酵素をお持ちで、この液体燃料が先生の御研究を推進する原動力になつたものと思われる。とは言え、健康には十分留意されて、今後とも一層の御活躍をお祈り申し上げます。

た。昭和三八年の修士課程設置、同五年の改組拡充と博士課程設置などを経て着実な発展を続けております工学部に在職できることは、私のこの上ない喜びでござい

ます。在職中の思い出の一つは、やはり大学紛争当時のことです。厳しい試練の時期ではありました。が、数多くの会合を通じ日頃専門を異にしている方々との交流が生まれ、貴重な教えをいただいたことが印象深く残っております。

西条のキャンバスが完成して始められた統合移転は未完ですが、緑に包まれた西条キャンパスが高い文化の香りと、学生の明るい歓声であふれる日が一日も早く訪れる事を祈念しております。

先生は昭和三六年に本学工学部

応用学科に着任され、以来三十一年間教育・研究にあたってこられました。先生の開発された各種金属の吸光光度・螢光光度法による定量法に関する論文は、「追試すれば、書いてあるとおりの結果が出来る」と各方面で厚い信頼を得ております。先生が日ごろ使われていた「当たらずとも遠からず」というお言葉にお人柄と強い信念が凝縮されています。先生が日々、先生だけ、少し敬遠気味の先生となり、遂に停年を迎える事が多かったが、一D毎にさんと先生が半々、先生だけ、少し敬遠気味の先生となり、遂に停年を迎える事が多かったが、一D毎に



研究室において

工学部化学工学講座

中丸 八郎

〈部局歴〉
昭三一・一 工学部

十年一昔と言う言葉がありますが、十年単位で言えば三・五D広島

が、長いよう短い三・五Dだったと思います。固液分散系（粉と液との混合物。早く言えば泥んこばかり）つづいてきましたが、研究上のことはもちろん、その他についても、先輩には大変お世話になつたことはもちろん、その他の先生たちも、先輩には大変お世話になつた

りつづいてきましたが、研究上のことはもちろん、その他の先生たちも、先輩には大変お世話になつた

（応用理学講座 竹味 弘勝記）

工学部応用化学講座
出口 正一
（部局歴）
昭三六・九 工学部

学部に勤めさせていただき、この度、停年を迎えることになりました

卒業生諸君は社会に羽ばたいてすくすくと成長、それぞれの分野

終りに、在職中長年にわたりお世話をになりました教職員の皆様に

（応用化学講座 井藤 壮太郎 記）

昭和三六年九月から広島大学工学部に勤めさせていただき、この度、停年を迎えることになりました

卒業生諸君は社会に羽ばたいてすくすくと成長、それぞれの分野

（先輩、三・五D間の後輩、その間

化とも重なる節目でした。

閑話休題。このように三・五D間



皆さんから「少しあ片付けよ」と
常に言っていた居室にて

の同級生と廻り合えたことは幸運
だったと常々思っております。
皆様の御厚情に対し心からお礼
申し上げますとともに今後の御発
展をお祈りいたします。

* * *

中丸先生の専門分野における深
い思考力と、その周辺の広範囲に
及ぶ博識にはただ敬服申し上げる
のみです。実は私の論文や雑文の
ほとんどは用字・用語から理論の
展開まで中丸先生に厳しく詳細に
チェックして頂きました。また専
門分野の疑問点はもちろん、特殊
な物品（例えば直径約20mの球形
粒子100t）の入手方法まで気軽に
教えてくださいました。お酒も
たくさん飲ませて頂きました。中
丸先生ほんとうに有難うございま
した。

（化学工学講座 松村 昌信 記）



シャトルの快音を響かせたバドミントン　迷彩プレイヤーの雄姿です

工学部機械設計工学講座

西村 秋典

（部局歴）

昭二五・八 理学部
昭三七・四 工学部

先人の歩んだ道を辿り続けてついに人生の分岐点へ差し掛かりました。そこは、停年と言う名の転換期でもあります。振り返ってみると細く長く曲がりくねった道でした。よくもまあ四〇余年の歳月を、何とか無事に越えてこられたのです。これも多くの人々の支えがあつたからこそと感謝の気持ちでいっぱいです。

在職中強く印象に残ったこと、一つは学園紛争であり、嵐の中で問い合わせられた大学改革の灯は、変貌する大学にその未來像として

洞察力、視野の広さ、創造的想像力の有無を問い合わせるでしょう。あくまでもその時代にその未来像として

新キャンパスに移り一〇年、建物その他の急増、多くの留学生を見かける今日、母校である広大の発展と国際化に対し心からお慶びを申し上げ、更に、名実共に飛躍することを切に念願致します。

工学部船舶計画工学講座

堀田 多喜男

（部局歴）

昭三八・三 工学部

想えば二九年、その長きにわたり広大の皆様誠にお世話になりました。当初千田町の船舶工学科は総勢一〇名足らず、学生定員三〇名位だったと記憶します。すぐ修士課程、昭和四四年に教室が鉄筋コンクリートになり、試験水槽の完成と発展致しました。学生は

先生は、昭和三年本学工学部船舶工学科に赴任されて以来、特に乱流や表面摩擦応力の計測に多くの業績を残されました。変化の激しい工学の分野で、一つのテ

台が見られたに過ぎません。私の研究は船体まわりの流体力学で特に抵抗や乱流に関する計測と計算でした。理学部の穿孔紙テープ式電算機のスピードに驚嘆

ました。試合には、いつも先生とペアで出させていただいたのも懐かしい思い出です。先生のご健康を心からお祈りします。

（機械材料工学講座 中佐 啓治郎 記）



凹凸面上の水流特に中央に柱体を立て、周囲の渦を可視化する装置

昭五四・四 生物生産学部附属練習船豊潮丸



豊潮丸ブリッヂにて（中央）

初代実習船豊潮丸（旧海軍特務駆潜艇木造百t）に乗船したのは昭和三一年の真夏でした。作業員（非常勤）日給四百圓の辞令を頂き当时田舎で落零ていた私はこの幸運に感謝したものです。水産

産学部は現在の日本鋼管福山製鐵所の北端の旧皿山海岸（福山市）にあり豊潮丸は学部の沖合に錨泊していました。学部前の海岸は美しい舟艇の引揚用スロープがあり小型定置網があつて小魚も多く私達水産族には最高の環境であったと思います。以来三年公私にわたり色々と起伏はありましたが学部の皆様に支えられて漸く今日に至

りました。深く感謝しています。又更に振り返りますと私の少年時代は軍國主義一色で今のNHKドラマ足利尊氏は乱臣賊子であり、太平洋戦争は東洋平和のための大東亜共栄圏確立のためであり、私も忠君愛國を信じ、志願して海軍の兵となり敗戦を経験しました。そして今年は眞珠湾奇襲攻撃五〇周年目でこの戦争で亡くなられた方々の事等色々考えさせられる二月でした。おわりに広島大学の発展を祈念し、教職員の皆様の御多幸をお祈りします。

* * *

福浦先生は、熊本県玉名の御出身で、水産大学校漁業科専攻科を卒業後、昭和三年に本学部練習船に着任され、昭和四八年より今まで船長として、船舶の管理・運営の指揮を取つてこられました。

また、船内生活を通しての学生に対する教育・実習・調査と重責を負ひながらも、やさしい人柄と、厳しい決断力とによって荒波を乗り越え、平稳な母港へと導いてこられました。今後健康に留意され、ますます御活躍されることをお祈りします。

（附属練習船豊潮丸 郷 秋雄 記）

りました。深く感謝しています。又更に振り返りますと私の少年時代は軍國主義一色で今のNHKドラマ足利尊氏は乱臣賊子であり、太平洋戦争は東洋平和のための大東

亜共栄圏確立のためであり、私も忠君愛國を信じ、志願して海軍の兵となり敗戦を経験しました。そして今年は眞珠湾奇襲攻撃五〇周年目でこの戦争で亡くなられた方々の事等色々考えさせられる二月でした。おわりに広島大学の発展を祈念し、教職員の御多幸をお祈りします。

附属高等学校

中本 薩雄

昭二九・四 教育学部附属東千田中学校

昭三〇・七 教育学部附属中学校
昭三四・四 教育学部附属高等学校

昭二九・六 附属高等学校
昭六三・四 附属中学校

昭三一・四 附属高等学校
昭三一・四 附属中学校

我が最愛の附属中・高校にお世話になること三五年余り、実にすばらしい生徒（卒業生も）たちと、尊敬できる多くの先輩教師の諸氏にかこまれて、生徒と共に学ぶことまで育てていただきました。

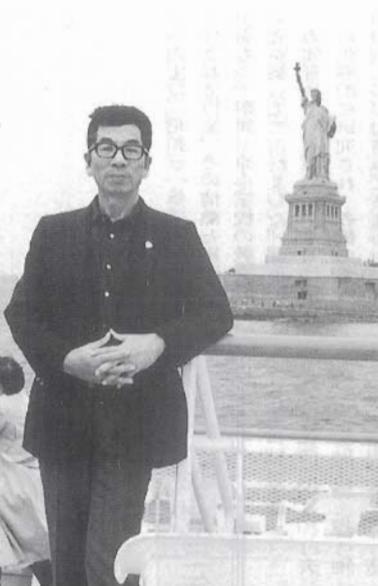
また、学識深き同僚や附属の教育に惜しまず理解と協力を賜つた

保護者に支えられ、知人、友人の温情にも助けられてのこの世紀は、最高に充実した日々でした。授業に、研究に、校務に、そして野外活動や学校行事に、常に意欲的に取り組んだつもりですが、私のいたならなかから、皆様方に余り貢献できていないことを悔やんでいます。

この程度の字数では、とても附属での想い出は書けません。御指導をいただきました諸先生方、同僚の皆様、そして御力添えをいただきました事務職員の皆様方に、心からのお礼を申し上げたく存じます。誠に有難うございました。最後に校訓の一節を「創造を旨とし、気魄と情熱に燃えよ。」皆様の一層の御健勝とご活躍を祈念します。

* * *

先生は、昭和二九年広島大学をご卒業ののち、附属中・高校にご勤務になりました。



昭和61年度文部省海外教育事情視察団員として、米国ニューヨーク市に於て

務になりました。以来三十有余年、まさに文字通り附属ひとすじに、現場教師としての優れた学識で同僚教師、生徒はいうまでもなく保護者、卒業生に対しても暖かいご指導で対応されました。その功績は、文部大臣による教育者表彰の受賞で評価されています。

先生の多年の功労に敬意を表し感謝いたしますとともに、今後のご健康とご発展を心からお祈り申上げます。

（附属中学校 松井 坦 記）

附属東雲中学校

長原 順子

昭二九・二 补導部厚生課
昭三三・四 学生部厚生課

昭四二・二 教育学部附属東雲中学校

（部局歴）
昭五三・六 附属東雲中学校

私は、昭和二九年に岡山県公衆衛生看護学校を卒業し、その年に広島大学補導部厚生課に勤め、四年から附属東雲中学校の方に転任してきました。東雲中学校に来た当時、周囲は蓮田やぶどう畑に



昭和63年6月の研究会「私達にもできる応急手当の仕方」の授業風景

す。私にとつて、これまで忘れることがないすばらしい人々に出合えた事が一番の喜びです。最後になりましたが、広島大学のますますのご発展を心からお祈り致します。

* * *

「飛ぶよう歩く」「生き字引」との評判どおり、活発で几帳面な方です。親睦旅行では砂丘に一番に駆け上がり、間違った発言があれば古い会議録を持ってきて指摘。保健室に逃げ込む生徒も増えたこの頃は、しんみりと相談相手になる一方、健康調査票による「中学生の悩み」や子どもの人間関係の分析など、研究の先端を歩んでおられました。ピンク・赤などどんな色でも着こなすセンスと若さは、これから的人生の晴らしさを確信させてくれます。

冬はとても寒かったのを覚えていますが、でも生徒達は健康で心豊かな子が多くいたように思います。現在は鉄筋校舎に建てかえられましたが、ほとんどの生徒が塾に通い、ゆとりのない生活をしているのを見ていると心が痛みます。

昭五三・六 附属三原小学校

（部局歴）
昭三一・九 教育学部 附属三原小学校
吉永 一恵

（附属東雲中学校 柴原 健児 記）



学級活動「保健」の風景

先生は、昭和三年に本校に着任されて以来、その情熱と実践力をもつて附属三原小学校の教育研究を築いてこれました。御専門の体育科、表現運動については常に先導的に研究され、各校の実践の向上に尽力されました。いつも先生のもとを訪れてくる卒業生をみますと、教師愛に満ちた先生のお人柄を改めて感じる次第です。退職されることになり、誠に残念ですが、先生の教育に対する情熱と厳しさを宝とします。御多幸をお祈りいたします。

（附属三原小学校 豊田 登互 記）

理	経	法		文		総合科学部
紀喜久川	学部	森宮平畠今中松吉村口本中高	学校教育学部	澤日南田	高橋中	坪田真規和
隆政	田部	田野中比呂志	高橋敏	林芳	橋康彦	静博矩夫
雄吉	成啓	伊和男	典久	規	造矩夫	
	美二		雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			
			村典			
			雄清			
			司雄			
			久			

* * *

牧野さんは、長い広島生活で一度しか配置換の経験がなく、それが、それぞれの学部のお母さんの存在で青年の先生や事務の先輩方が故郷の幼なじみか恋人に会うが如く、よく尋ねて来られます。

私も仕事を一緒にするのは、始めてですが、同じ学部を共有したこともあります。また、諸先輩方の若かりし日のこと伺うのはとても楽しく、また、今の仕事ぶりはそんな中で培われたのかと見習うことも沢山ありました。卒後の御多幸をお祈りします。

(庶務係 野村 建明 記)



旧理学部建物をイメージして作られた
新キャンパスの正面玄関前で

業務を担当させて戴き、共に教職員致協力して無事移転が完了出来たことが忘れられない思い出となることでしょう。

定年退職後は、第二の人生に向ってスタートします

が広島大学で得ました貴重な体験を生かしてがんばりたいと思っています。

最後に、広島大学の益々の発展と、皆様方の御健勝を心から祈念いたします。

* * *

郵政省を経て、昭和三五

年に工学部に奉職されて以来、三年の長きにわたり、多くの要職を歴任され、広島大学の発展のため尽力されました。この間、平成元年の教育学部、平成三年の理学部の移転を事務長として優れた指導力をもって実施されました。

三四余りの皆様のご指導とご協力を頂き無事に定年退職出来る

ことを厚く御礼申し上げます。

新キャンパスに移転の際は皆様に

お世話なり、荷造りするのが暑

かつたこと、移転が無事に終わ

たことを思い出に。

第一の人生は季節の野菜を作り

自然食で余生を送りたいと思いま

す。益々大学と特殊加工技術開発

は、その誠実さを物語ついています。退職されましてからは

健康に留意され、第二の人生を過

ごされますようお祈りいたしま

業務を担当させて戴き、共に教職員致協力して無事移転が完了出来たことが忘れられない思い出となることでしょう。

理学部金属素材応用部門

向井 真章

(部局歴)

昭三二・一一 医学部附属病院
昭三三・六 皆実分校
昭三八・七 理学部

室の発展と皆様の御健康をお祈りいたします。

向井さん三〇数年のお勤め御苦労さまでした。この間、向井さんは温厚誠実な人柄をもって奉職され、(旧)金属工作室の技術の向上、後輩の指導にと努力されました。

また、本年度の理学部移転業務に際しても長年蓄積された経験を發揮され、特殊加工技術開発室のスタートに献身的に努められました。

その後、理学部移転業務に従事する一方で、専門分野であるガラス素材応用部門の運営に貢献されました。この間、平成元年の教育学部、平成三年の理学部の移転を事務長として優れた指導力をもって実施されました。

御一緒に仕事をさせていただいた期間は短い間でしたが、いろいろご指導、御教示いただきまして誠にありがとうございました。これからも健康に留意され益々御活躍ください。

理学部事務部

鳥居 秀次

(部局歴)

工学部
昭三五・八 庶務部庶務課

昭四二・一一

庶務部人事課
学生部学生課

昭五七・四

教育学部
理学部

昭五九・四

教育学部
理学部

昭平二・四

教育学部
理学部

昭和三五年、

当時広島市千田町
三丁目にあつた工学部の学務係に

勤務して以来三三年間広島大学にお世話をになりました。この間、多数の先生方、諸先輩の御指導により、また同僚、後輩の御支援もあって、このたび大過なく定年をむかえることができました。厚く御礼申しあげます。

在職中の思い出はそれぞれの職場で多々ありますが、なんといっても荒廃にあけくれた大学紛争、それに続く大学改革の波、西条地区への統合移転が印象深く、特に平成元年の教育学部に引続き平成三年夏の理学部と一度に亘る移転

第一の人生は季節の野菜を作り自然食で余生を送りたいと思いま

す。益々大学と特殊加工技術開発

は、その誠実さを物語ついています。退職されましてからは

健康に留意され、第二の人生を過

ごされますようお祈りいたしま

す。

(ガラス素材応用部門 尾崎 真美 記)



万能工具研削盤でエンドミルの研削中



山形県出羽三山に義母をともない訪れた時。
折しも芭蕉來遊三百年祭が催されていました

部と勤務先を替え遂に公務員としての終焉の場を奇しくも医学部で迎えることになりました。今から考えてみますに私の公務員生活も「あつ」という一瞬の間に過ぎ去った旅人のように思われますが、その間いろいろな方々との出会い又義父母の協力があつたことに今更ながら感謝しております。皆様永い間有難うございました。

* * *

県立医專に奉職され今日までの永きにわたり会計の仕事に専念されました。本当に疲れまでしまった。

温厚誠実な人柄で誰からも愛された井上さんは姉御肌の方でたよりになる存在でした。多くの人が井さんのお世話をなっていました。

た。退職されたら寂しく、また心細くもありますが、我々もがんばってまいります。これからは旅行と趣味の生活をお聞きしています

が、健康には十分注意のうえ楽しめ人生をお送りください。

(管理課総務係 松本 尚敏 記)

くもあります。が、我々もがんばってまいります。これからは旅行と趣味の生活をお聞きしていますが、健康には十分注意のうえ楽しめ人生をお送りください。

(管理課総務係 松本 尚敏 記)

医学部医事課 大平 明

(部局歴)

昭二四・八 工学部
昭四二・六 理学部
昭四四・五 教育学部東雲分校
昭五〇・四 工学部
昭五五・四 法・経済学部
昭五八・四 教育学部
昭六〇・四 法学部・経済学部
平一・五 医学部医事課

最後に定年を迎えることになります。昭和二三年広島工業専門学校図書館に奉職以来大過なく今日を迎えたことは、諸先生、先輩方の御指導、同僚、後輩のお力添えと心から感謝申上げます。

かえりみれば、それぞれの職場での思い出がありますが、なかでも印象の深いものは、昭和三五年一〇月、工学部倉庫の火災、当日宿直で、守衛さんからの通報を受け、現場にかけつけた時は、既に倉庫は怒濤の如く押し寄せる炎の

海、消防署に連絡し、消火作業に一生懸命つとめたこと、また、昭和四年頃から起きた、大学紛争の嵐の中で試行錯誤の月日、学外での入試と勤務、全共闘の学生とわた

りあつた時に、消火剤を全身に浴びせられたこと、いろいろ苦労は有りましたが、全学の教職員が一致団結し、大学の正常化に努力したことは忘れない思い出となりました。大学も紛争を契機とし、整備、改革が進み今昔の感ひとしおりです。今後益々の御発展を祈りお別れの意といたします。

* * *

大平さんと机を並べさせていた

だいて、はや三年が過ぎました。

大平さんは、大学に四〇数年間

謹直に職を全うされ、ここに采替

ある退官をされることになりました。

特に、病院での三年間は病院事務の要職にあって、患者さんをはじめ、日々数多くの人との分割み

た。特に、病院での三年間は病院事務の要職にあって、患者さんをはじめて対応、私ども部下の相談にのり、そんな忙しい中であつてもときには勤務を終え、街に出て酒をたのむのもあり、私どもはこれまで如何に人情厚き、大平さんにお世話になつたことか。そんな過ぎし日の思い出が次々と浮かんでいます。

毎日石炭を運ぶのが私にとって大変な重労働でしたが、「云うよりも見て習え」との先輩の教えを受け私も先輩の足あとをたどりました。ふりかえつてみますと二九年六ヶ月が過ぎていきました。

その年月には色々な想い出があり今走馬燈の如く浮かんできます。

ご退官後は、健康に留意のうえ新境地で鋭意邁進されることを心からお祈りする次第です。

(医事課 上中 達男 記)

(部局歴)
高木 實
医学部管理課設備係
昭三八・八 医学部附属病院
昭三九・四 医学部附属病院管理課
平一・五 医学部管理課



りあつた時に、消火剤を全身に浴びせられたこと、いろいろ苦労は有りましたが、全学の教職員が一致団結し、大学の正常化に努力したことは忘れない思い出となりました。大学も紛争を契機とし、整備、改革が進み今昔の感ひとしおりです。今後益々の御発展を祈りお別れの意といたします。

* * *

大平さんと机を並べさせていた

だいて、はや三年が過ぎました。

大平さんは、大学に四〇数年間

謹直に職を全うされ、ここに采替

ある退官をされることになりました。

特に、病院での三年間は病院事務の要職にあって、患者さんをはじめて対応、私ども部下の相談にのり、そんな忙しい中であつてもときには勤務を終え、街に出て酒をたのむのもあり、私どもはこれまで如何に人情厚き、大平さんにお世話になつたことか。そんな過ぎし日の思い出が次々と浮かんでいます。

毎日石炭を運ぶのが私にとって大変な重労働でしたが、「云うよりも見て習え」との先輩の教えを受け私も先輩の足あとをたどりました。ふりかえつてみますと二九年六ヶ月が過ぎていきました。

その年月には色々な想い出があり今走馬燈の如く浮かんできます。

長い様で短い年月に思われます。この度つがなく定年を迎えられることができましたのも職場の皆様の温かいご指導とご支援があります。

定年後も初心を忘ることなく過ごしてゆきたいと思っておりま

す。六〇才はまだ若い第二の人生を考えていますので今後とも皆様のご鞭撻ご指導をよろしくお願ひいたします。

*

*

ボイラーがまだ石炭焚きのころから二年余りの勤務ほんとうに御苦労さまでした。ボイラーマン

不規則な生活で公私共、何かと御苦労が多かったです。ユーモラスな人柄は皆さんに愛されました。明るい声が聞けなくなるのは寂しいかぎりです。今後は一層御健康に留意され、いつまでも元気に過ごされますよう心からお祈りいたします。

(管理課設備係 宮田 学記)

昭三・四 医学部附属病院業務
〈部局歴〉
昭三・四 医学部附属病院医事

西生 貞子

医学部医事課医事係
西生 貞子



平成3年5月スコータイの寺院の前にて



平成3年11月23日家族で三段峡へ行きました。三段の滝ですが今年雨が少ないので水が少しでした。

きました。

退職後は体調を十分に整えら
れ、第二の青春を求めて活躍され
るよう念じています。

(医事課医事係 竹原 伸也 記)

医学部附属病院看護部
香月 恵子

〈部局歴〉

昭三・四 医学部附属病院
昭三・五 医学部附属病院看護
部

昭三・四 医学部附属病院
昭三・五 医学部附属病院看護
部

昭和二四年新制度として発足し
た看護学校、当時は広島県立医科
大学附属厚生女学院に入学、二七年
に卒業、同時に当院に就職、満四
〇年務めることになります。四〇
年と云えば気の遠くなるような長
い年月です。経つてしまえば

次に心残りに思うことはスタッ
フの皆様が余裕のある援助のでき
る業務ができるように心を配つて
きましたが一向に改善されること
なく逆に繁雑に忙しくなってゆく
業務状況に心を痛めて四〇年を終

えます。昭和二十四年一〇月広島
県立医科大学に採用され、三年
国立移管、三年吳市より広島市
霞町に移転しました。当時事務室
から窓外を見ますと蓮田、黃金山
は竹藪におおわれ、なんと広島に
もこんな田舎があるのかと思う程
でした。しかし今は広島市の中心
になる程整備されました。世の中
の移り変わりに併行し私も老いた
というものが実感です。医事課一筋

深夜に亘る手書レセプトの作成
と集計の時代、窓口業務における
患者との対応と数々のトラブルの
処理・どれ一つ取つても困難な業
務ばかりで大変苦労されたことと
思います。

西生さんの業務に対する情熱と
積極的な姿勢、何時までも若き溢
れる明るいお人柄は医事課の「お
母さん」として誰からも慕われて

あつ」という間の出来事のよう
に思えます。

この長い歳月私を一番喜ばせ有
頂天にさせてくれたことは、患者
さんや、その家族の方から聞かさ
れた「この看護婦さんは皆優し
くてよくして下さる」と云う言葉
でした。そしてその後には必ず「婦
長さんの教育がよいからでしょ
う」とつけたして下さるので、長
い看護婦生活の中でこれ以上のす
ばらしい言葉の贈物はないと思いま
す。このように良いスタッフに
支えられたことを感謝しております。

退職者を送る

わることを残念に思います。

最後にこの長い間大過なくすごさせて頂きありがとうございました。

* * *

約四〇年間の看護業務、本当に

御苦労さまでした。常に斬新的な発想を開拓され、指導性を發揮されました。現看護学校の前身である厚生女学院第一期生としては、唯一一人母校で初心を貰かれました。学内の水年勤続者の表彰は勿論ですが、広島県看護協会員として会長表彰を受けられ、対外的にも専門職能の意気を示されました。また、純真な笑顔、激しさと心のあたかさが、「香月婦長サン」として印象深く残ります。今後ますますの御健康、御多幸をお祈りします。

(看護部 岩本 恵美子 記)

久保田 安子
医学部附属病院看護部

〈部局歴〉

昭三四・六 医学部附属病院
昭五一・五 医学部附属病院看護

広大の附属病院に昭和三四年に



医学部附属病院看護部

松富 ツギ

職後は健康に留意し趣味を楽しみながら過ごして行きたいと思つております。最後に皆様方の御健康と御発展を心からお祈りいたします。

*

*

*

昭三三・八 医学部附属病院
昭五一・五 医学部附属病院看護

昭和三年八月より大学病院に就職勤務して三三年間、夢の様に過ぎ無事定年を迎える事が出来ました。思いますに、病棟から外来に勤務させて戴き多くの人々にめぐり会い、数々の思い出懐かしく心深く残っております。この様に長い間大過なく働く事が出来ましたことを感謝いたしております。

久保田安子さんは広大病院、第一外科病棟、外来を合わせて勤続で始まつたばかりで、とまどいもありました。その後、外科技術は高度化を極め、一般外科はもとより臓器移植への取り組みから、本年は生体部分肝移植の看護の一部分も経験させて頂きました。大変な中にも生き生きと毎日を過ごすことが出来て看護の進歩、変遷を感じました。私が今日あるのは上司をはじめ良き先輩や同僚に恵まれ支えられて来たからだと感謝でいっぱいです。夢中で進んで来ました

生活した経験から若い人の悩みにも相談相手になられ同僚にも慕われています。退職後も看護職のメンバーとして経験を生かして地域の中で活躍される様に大いに期待しております。

(看護部 神田 清子 記)

昭43年友人と一緒に(右側)

(看護部 新屋 福江 記)



医学部附属病院看護部

山根 リツヨ

〈部局歴〉

昭三一・四 医学部附属病院
昭五一・五 医学部附属病院看護部



昭和二十三年に就職し四、三年間ほとんど長い間皆様のご指導とご支援のもとで大過なく医学の進歩と共に看護の道を歩み定年を迎えることが出来ますことを心から感謝いたします。居ります。

かえりみますと田園に囲まれての広本院は木造建築で冬期は火鉢を囲んでの夜勤でした。

当病院に助産婦養成所が附属し昭和二四年に学ぶことが出来ました。それから昭和二七、二八年に附

属病院音戸分院に転勤、サナトリウムで結核患者の看護にあたり漏電により第一病棟が全焼し防火訓練の大切さと人命第一の避難を痛感致しました。昭和三年に広島に移転し現在に至りました。

これから先、長寿社会に向け少しでもお役に立てばと思つております。最後になりましたが皆様方のご健康とご発展をお祈り致します。

* *

昭和二三年に奉職され、四、三年間という長い年月、ほんとうに御苦労さまでした。時代とともに看護が変わってきたことを、淡淡と語られるお姿から、曇日深きを感じていました。看護職の先輩として積極的に研究会に参加され、後輩の働きやすい場づくりに気を配り、いろいろお世話くださいました。誠実でお優しく、それでいて毅然と後輩を説得されるお人柄を多くのスタッフが、お慕いしていましたことでしょう。どうかお元気にお過ごしください。

(看護部 高本 宣子 記)

歯学部総務課庶務係

幡司 剛

〈部局歴〉

昭四一・四 歯学部
昭六一・四 歯学部総務課



歯学部の職員旅行で雲月山に行った時の思い出の写真（1970.10月：前列の中央）

永い道のりでしたがなんとか無事定年を迎える事が出来そうですね。昭和四一年歯学部に奉職して二六年間大過なく勤務させて頂きましたのも、多くの皆様の心温かい御支援と御指導があったなればこそはと深く感謝致しております。時代も昭和から平成と変わり

事今日の日を迎える事が出来ました。歯学部も次の世代にむけて大きき飛躍していかれますよう心から御祈り致しております。本当に永い間有難うございました。これからも人生を大切に豊かな日々を送る事が出来ればと願つております。最後になりますが広島大学の益々の御発展と皆様方の御健康を心より御祈り申し上げます。

* *

昭和四一年に奉職されて以来六年の長きにわたり、一貫して歯学部創設時からの環境整備に御尽力され大変御苦労さまでした。暑い日寒い日の天候にかかわらずの毎日の業務はさぞかし大変だったでしょうが、黙々と仕事に励んでおられた様子が印象に残ります。退官後は「好きなことをしながら」と伺っておりますが、一層御健やかに留意されて、これら的人生も楽しい日々が続くようお祈りいたしております。

(総務課庶務係 坂下 勝記)

歯学部総務課庶務係

宮崎 博

〈部局歴〉

昭四〇・九 歯学部
昭四五二・五 政経学部
昭五九・四 医学部附属病院管理課
昭六二・四 歯学部総務課

昭和四〇年九月歯学部に採用され、その後政経学部、法経済学部、医学部附属病院そして二度目の歯学部に、その間二六年余り大過なく無事定年を迎える事は、上司を始め諸先輩同僚と皆様方の御指導と御鞭撻のおかげと厚く御礼申上げます。振り返って見ますと楽しい事ばかりが思い出されます。特にソフトボールでは下手なりによく仲間に入れてもらい学内代表として三度も共済大会に出場させてもらったり、学内レクリエーションでは見知らぬ所に旅行したりして楽しい思い出がたくさん頭に残っています。又、限られた人しか担当しない献体受領も経験させていただきました。まだまだ気分

退職者を送る



生物生産学部レクリエーション旅行　岡山後楽園にて（3列目左端）

誠心誠意取り組まれる姿に、私は正かつかは深い感銘を受けました。

* * *

温厚篤実で何事にも思いやりのある人柄と、仕事に対し厳正かつ誠心誠意取り組まれる姿に、私は深い感銘を受けました。

理論物理学研究所の閉所に携わられ、その大役を見事に果たされたしました。また、理論物理学研究所に

昭和四二年四月奉職以来、附属図書館、教育学部附属幼稚園・庶務係、原医研庶務係と二五年間、いま定年を迎えようとして居ります。其の間、大学紛争、元気に朝早くから働く日々、苦しかった日々と、色々有りました。

（部局歴）
昭二七・一〇 附属図書館

附屬圖書館情報管理課

(庶務係 菅原 勉記)

退職された後も健康には充分留意され、趣味の魚釣や菊作りなど奥様と共に楽しい人生を送つて下さい。

したが、好きな酒をピッタリと止められ、今では血色のよい顔で、まるで全く新しい人生を歩んでおられるかのようです。

数年前から動物実験施設の管理業務にも携わっていただき、同施設の円滑な運営ができました。

これまで勤務して来ることがで
きましたのは、先輩をはじめ皆様
の方の温かい御支援と御厚情のたま
ものと深く感謝しております。
最後に、広島大学の益々の御発
展を心からお祈りします。

うまいご句会のことは、三滝吟

レクリエーションで大三島への旅は、掌にのる小さなパンフレットにリボンの付いた冊子を庶務にいた中村仁さんが作ってくれた。後に、フォーケダンスを大坪一郎さん等と一緒にすることは思いもしませんでした。その頃、「君の名は」の放送劇をしようと、放送劇団が作られましたがすぐに消えて終

図書館四〇年の勤務は、人との出会いでもありました。

A black and white portrait of Wang Qishan, a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a suit and tie.

昭四七・四	附属図書館整理課
昭五一・四	附属図書館閲覧課
福山分館	
昭五三・四	附属図書館整理課
昭六〇・四	附属図書館閲覧課
昭六三・四	附属図書館情報 サービス課
昭六三・九	附属図書館情報管 理課

本学図書館の歴史を語れる人は、勤続四〇年の赤坂さん以外他に思いつかない。また、高校機械科卒業の経験が、昭和五一年からの図書館電算化に生かされ、今があると言える。一方、県図書館協議会の幹事役、国大図協の連絡校の事務等地道にこなす姿は、本学のみならず他大学からも十分な信頼を得るもので、今、移転を控えた本学図書館にとり、誠に残念な限りですが、元気で第二の人生を送られん事、祈念して止みません。

、禿翁寺（橋本博道）での句会な
どが特に思いだします。
図書館については余りにも多く
ありすぎて、書くことはできませ
んが、皆実分校の橋間勝一さんは、
松島島の「十一人座」という劇團に参
加した。その頃の話をよくしてく
れました。教育の森沢巖さんは、一
度よく山に登られましたが、江
文学から小説まで博学でした。
昭和三〇年代の一部ですが思
くまま書きました。
思い出を糧に、これからも元気
杯進んでいきます。

附属図書館情報管理課総務係

榎本 圭一

〈部局歴〉

昭三七・四 原爆放射能医学研究
所

昭四五・四 附属図書館

昭四七・四 附属図書館整理課
昭六三・四 附属図書館情報管理
課

在職中の色々な思い出はつきませんが、その思い出を生涯の糧として、これからは田舎で妻と共に孫の成長を楽しみながらこれから的人生を有意義に送りたいと思ひます。

終わりに、皆々様方の御健勝と広島大学のますますの御発展を心より御祈り申し上げます。

* * *

気負いがなく淡々と広島大学と共に歩む。そんな榎本さんは平成二年の一〇月からでした。僅か一年半の間でしたか。氏の誠実で確かな仕事ぶりは、見聞どおりでした。朝の六時半頃から手際よくこなし、日に二度の連絡便も、多量な図書・郵便物であるにも関わらず黙々とこなす、この様な氏に去られることは、今 東広島市への移転を控えた図書館にとって誠に残念なことです。いつまでもお元気でお過ごし下さい。

昭和三七年四月広大原医研に採用され、その後昭和四五年四月附属図書館へ配置換えになりました。その間三〇年の時を経てこのたび定年を迎えることになりました。原医研、附属図書館共に大過なく勤められましたことは、偏に恵まれた上司の方々を始め皆々様方の温かい御指導と御支援の賜もの深く感謝し、厚く御礼申し上げます。誠に有難うございました。

附属学校部東雲附属学校係

池田 美代子

(情報管理課総務係 己之口 明也 記)



お月見の行事実施に際して季節感を味あわせるために、各クラスに配るすすきを組み合わせているところ

〈部局歴〉

昭四〇・九 教養部

昭四九・六 総合科学部

昭六〇・四 法学部・経済学部

昭六二・四 附属学校部東雲附属学校

昭和四〇年九月教養部に就職し、六〇年四月に法・経済学部に、六二年四月に、東雲附属学校係の学校給食係にと思い出多い年月を過させて頂きました。至らない私ですから身の引きしまる思いで出勤しました。皆様はいつもやさしい思いやりと、はげまして私を勇気付けて下さいましたが、此の度ようやく定年を迎える事になりました。附属学校では初めて経験する給食係であり不安もありましたが、人様もさておられるのだからと、気分を新たに、仕事に取り組みました。調理等にたずさわる事により、食に対する心構えは、原点に戻り強められた。給食室の方々、事務室の職員の方、諸先生

には大変お世わりになり又ご迷惑多かった事と思思います。本当に難うございました。衝撃的な岡本学部長の死、本田副校長先生、法・経済学部の辻様の病死は今でも残念です。第二の人生は、最近になつてもう少し働きたいな、と思う様になりました。何のご恩返しもせずに引きさがる事はいさか心残ります。皆様誠に有難うございました。

* * *

(東雲附属学校係 松原 佳惠記)

〈部局歴〉

附属学校部三原附属学校係

田中 勇二

昭和六二年四月、當時五九才で、

附属東雲小学校の給食業務を命ぜられ、大変ご苦労されたことと思います。時間に追われる毎日。終業

後、調理や作業のきまりを毎日ノートにメモされていたのが昨日のように思いだされます。平成三年八月には、調理師の国家試験に挑戦、合格。日頃の勉強さに頭がさがる思いがしました。おいしい給食も真心のこもった調理と鋭意研究のおかげです。本当にありがとうございました。いつまでもお元気で過ごされますようお祈りいたします。

（部局歴）

昭二八・五 水畜産学部

昭五四・四 生物生産学部

平二・四 附属学校部三原附属学校

昭和二八年に水畜産学部(現生物生産学部)に奉職して以来三八年余りの間、皆様と一緒に喜怒哀楽をともにし、ご指導とご援助を賜り大過なく退職することができます。当時の学部は海辺あり、裏山あり別荘地のようなところで、旧航

と深く感謝し、厚く御礼申し上げます。誠に有難うございました。

附属学校部東雲附属学校係

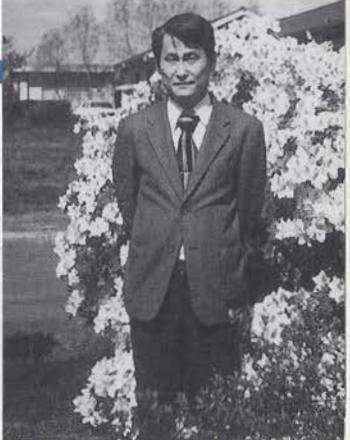
池田 美代子

己之口 明也 記

の温かい御指導と御支援の賜もの深く感謝し、厚く御礼申し上げます。誠に有難うございました。

（情報管理課総務係 己之口 明也 記）

退職者を送る



生物生産学部附属農場事務室前にて
(1976年)

空隊跡地(深安郡大津野字皿山)で複翼機の水上飛行機(通称赤トンボ)が飛行訓練をしていたところであったそうです。その後戦により大学が引き継ぎ、現在の生物生産学部のあったところです。その風光明媚なところで海岸では磯釣、湖干狩など、裏山では景色の眺望、散策など明日への活力を養い約10年間勤務しました。その後移転した福山キャンパスにまた西条キャンパスと勤務地が変わり最後に附属三原校となり感慨一入の今日此の頃です。退職しましたのは趣味をこよなく愛して余生を送りたいと願っています。長い間ほんとうにありがとうございます。今後ともよろしくお願ひ申上げますとともに皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

* * *

係長は人の和を重んじられる飾り気のない人間味溢れるお人柄で氣の抜けないところなど気楽に勤務することができました。



色々な思い出のある事務室にて

常に温かく、幼稚園の金魚が死んでしまった折は、自分が大事に育てたのを何よりもさします。

下さり心より感謝申し上げます。

趣味は巾広く養魚、園芸と楽し

みを沢山お持ちですし、何よりも家庭を大切にされる方なのでお

幸せな日々が待っている事です。

第二の人生を祝福します。

（三原附属学校係 横原 稔子 記）

昭五三・六 附属学校部皆実附

属学校 昭五三・一〇 総合科学部

附属学校部東雲附 属学校

昭五七・一〇 附属学校部東雲附

附属学校

昭五三・六 附属学校部皆実附

属学校 昭五三・一〇 総合科学部

附属学校部東雲附 属学校

常に温かく、幼稚園の金魚が死んでしまった折は、ご自分が大事に育てたのを何よりもさします。

下さり心より感謝申し上げます。

趣味は巾広く養魚、園芸と楽し

みを沢山お持ちですし、何よりも家庭を大切にされる方なのでお

幸せな日々が待っている事です。

第二の人生を祝福します。

（三原附属学校係 横原 稔子 記）

昭五三・六 附属学校部皆実附

属学校 昭五三・一〇 総合科学部

附属学校部東雲附 属学校

昭五三・六 附属学校部皆実附